

ASQ、ASSQ-R、AQについて

本書に掲載したASQ、ASSQ-R、及びAQの3種類の質問紙は、高機能自閉症やアスペルガー症候群などの自閉症スペクトラム障害の可能性のある幼児、児童、生徒、青年、成人をスクリーニングするためのものです。

対象となる児童生徒や成人について、ASQは幼児期に認められた行動の特徴を中心に保護者にたずねる質問紙、ASSQ-Rは児童生徒や青年の現在の様子について教師や保護者にたずねる質問紙、AQは青年(生徒)や成人に自分自身についてたずねる質問紙です。

近年になって、青年期や成人期にアスペルガー症候群などの診断を受けるケースが増えてきておりますが、現在の主観的な状態の自己申告のみをもとに判断することは避けるべきだと考えます。自閉症スペクトラム障害は発達障害ですので、生育歴を判断(診断)の材料とすることが不可欠です。

また、自閉症スペクトラム障害は、脳波をはじめとした生理学的検査や生化学的検査などの医学的検査では、明らかな特徴が見出せないため、国際的な診断基準であるDSM-IVやICD-10では、行動特徴による操作的定義を用いておりますように、行動特徴についての客観的情報が必須です。

そこで本書では、自閉症スペクトラム障害をスクリーニングする際、より正確な判断を導けるよう、AQによる本人の主観的な状態を評価するとともに、ASQによる幼児期の客観的情報、および、ASSQ-Rによる学齢期の客観的情報を得て、判断材料とすることを提案しました。(文責:東條吉邦)